

自動走行システム・システム実用化WG(第53回)議事録

1.日 時 平成28年11月9日(水)10:00~12:00

2.場 所 中央合同庁舎8号館6階 623会議室

3.出席者:

(PD)	葛巻 清吾	トヨタ自動車株式会社 CSTO補佐
(主査)	稲垣 敏之	筑波大学 副学長・理事(総務・人事担当)
(副主査)	鶴浦 清純	株式会社本田技術研究所 四輪R&Dセンター 主任研究員
(副主査)	金光 寛幸	トヨタ自動車株式会社 コネクティッドカンパニー コネクティッド統括部 統括室 技術渉外グループ長
(副主査)	白土 良太	日産自動車株式会社 モビリティ・サービス研究所 主任研究員
	浅田 浩之	三菱自動車工業株式会社開発本部 車両先行研究部 部長 (代理:渡辺武司)
	内村 孝彦	ITS Japan 常務理事 自動運転プロジェクトリーダー
	佐藤 彰典	電子情報技術産業協会 (日本電気新事業推進本部 スマートモビリティシニアパート)
	柴田 英司	富士重工業株式会社 車両研究実験第4部 主幹
	村上 裕一	日本自動車部品工業会 (アイシン精機(株) 技術企画部 主席技師)
	山田 憲一	ダイハツ工業株式会社 電子技術部 ASV開発室 主担当員
	山本 康典	マツダ株式会社 技術研究所 人間機械システム研究 研究長
	楠 正憲	内閣官房 情報通信技術総合戦略室 政府CIO補佐官
	市川 類	内閣官房 情報通信技術総合戦略室 参事官 (代理:大嶋宏明)
	佐野 裕子	警察庁 長官官房 参事官 (代理:関川朋大)
	中村 裕治	総務省 総合通信基盤局新世代移動通信システム推進室 室長 (代理:増子喬紀)
	奥田 修司	経済産業省 製造産業局 電池・次世代技術ITS推進室 室長 (代理:丸山晴生)
	久保田 秀暢	国土交通省 自動車局 技術政策課 国際業務室 室長

(自動走行システム推進委員会)

(SPD)	有本 建男	政策研究大学院大学 教授
(SPD)	福島 正夫	日産自動車株式会社 グローバル技術渉外部 ITS技術顧問
	岩貞 るみこ	自動車ジャーナリスト
	片原 尚俊	電子情報技術産業協会 (富士通(株) Mobility IoT事業本部IT&PLイザ)
	加藤 晋	産業技術総合研究所 研究グループ長
	川本 雅之	筑波大学 教授
	清水 和夫	自動車ジャーナリスト
	永井 正夫	日本自動車研究所 代表理事・研究所長

(事務局)

森下 信	内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 企画官
竹馬 真樹	内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 政策調査員

4. 議題

4.1. 事務局報告

- (1) システム実用化WG対象施策 進捗状況報告

4.2. 施策状況報告

- (1) 警察庁施策受託時報告

- ・警1「自動走行の実現に向けた信号情報提供技術の確立」
- ・警2「自動走行の実現に向けた交通規制情報管理システムの構築」
- ・警6「国際的に開かれた研究開発環境の整備」

4.3. 各省庁独自施策

- (1) スマートモビリティシステム研究開発・実証事業(端末交通システム及びトラック隊列走行実証事業)の進捗について

4.4. 自動運転レベルについて

- (1) NHSTA自動運転ガイドライン・SAE自動運転レベルについて
- (2) 自動運転レベルの見直しに向けて

4.5. 情報共有・その他

- (1) ITS世界会議2016メルボルン参加報告
- (2) SIP-adus Workshopの取り組みについて
- (3) 市民ダイアログ概要報告(速報)
- (4) 研究開発計画改訂

5. 配布資料

資料5-3-1	H28年度施策一覧	[非公開資料]
資料5-3-2	平成28年度実施内容	[非公開資料]
資料5-3-3	端末交通システム(ラストマイル自動走行)及びトラックの隊列走行実証事業の進捗について	[非公開資料]
資料5-3-4-1-1	米国運輸省の自動運転ガイドラインについて	[非公開資料]
資料5-3-4-1-2	FEDERAL AUTOMATED VEHICLES POLICY OVERVIEW	[非公開資料]
資料5-3-4-2	SIP自動運転レベル定義の見直しに向けて	[非公開資料]
資料5-3-5-1	ITS世界会議2016メルボルン参加報告	[非公開資料]
資料5-3-5-2	2016年度SIP-adus Workshopの取り組みについて	[非公開資料]
参考資料1	システム実用化WG(第52回)議事録案(電子配布)	[非公開資料]
参考資料2	研究開発計画改訂版	

6. 議事録

4.1. 事務局報告

(1) システム実用化WG対象施策 進捗状況報告

○ 資料5 3 - 1、に基づき、事務局より説明があった。

4.2. 施策状況報告

(1) 警察庁施策受託時報告

- ・警1「自動走行の実現に向けた信号情報提供技術の確立」
- ・警2「自動走行の実現に向けた交通規制情報管理システムの構築」
- ・警6「国際的に開かれた研究開発環境の整備」

○ 資料5 3 - 2に基づき、説明と議論があった。

4.3. 各省庁独自施策

(1) スマートモビリティシステム研究開発・実証事業(端末交通システム及びトラック隊列走行実証事業)の進捗について

○ 資料5 3 - 3に基づき、説明と議論があった。

4.4. 自動運転レベルについて

(1) NHSTA自動運転ガイドライン・SAE自動運転レベルについて

○ 資料5 3 - 4 - 1 - 1、4 - 1 - 2に基づき、説明と議論があった。

(2) 自動運転レベルの見直しに向けて

○ 資料5 3 - 4 - 2に基づき、説明と議論があった。

4.5. 情報共有・その他

(1) ITS世界会議2016メルボルン参加報告

(2) SIP-adus Workshopの取り組みについて

(3) 市民ダイアログ概要報告(速報)

(4) 研究開発計画改訂

○ 資料5 3 - 5 - 1、5 - 2、参考資料1、2に基づき、説明と議論があった。